



町長エッセイ

友達の輪が広がりました!

みなさんこんにちは

先月、南三陸町と友好町の調印と互いに大規模な災害があった場合に助け合う協定を結んできました。

南三陸町は昨年10月1日に歌津町と志津川町が合併をして誕生した人口1万8千人余の新しい町で、これまで立川町と歌津町が友好町としてお付き合いをしてきた関係から今回の運びとなったものです。

豊かな海・山の資源を生かし、これからどんな町にしていくか希望に燃えている町と感じてきました。

佐藤仁町長さんからは、町内の主だった施設を大変お忙しい中、ご案内をいただいたのですが、廃校となった校舎を活用し宿泊施設としたグリーンツーリズムの「さんさん館」、仙台藩養蚕の発祥の地で由緒ある個人宅を寄贈してもらい周辺整備をした「ひころの里」、魚竜化石の「魚竜館」、羨ましいほど素晴らしい「天然芝の野球グラウンドとサッカー場」、国立大学の研究生を活用し、海の生物や生態系、環境保全などを学ぶ「自然環境活用センター」、オートキャンプ場やケビン等宿泊施設と食堂兼務の管理棟など、運営のあり方なども含めて、これからの庄内町にとって、大変に参考になる友好町の締結だと感じてきました。

最後に、「今後はお互いに日本一、住みやすいまちづくりに努力しよう」と硬く手を結び、誓い合ってきたところです。

みなさんもこれを機会に是非一度足を運んでみたらいかがでしょう。これからは友好町だよりとして広報にも掲載をしていきたいと思えます。お楽しみに!

庄内町長@

原田真樹